

## 平成 22 年度 第 129 回 教育研究審議会議事要録

**日 時** 平成 22 年 11 月 9 日 (火) 13 : 30 ~ 14 : 20  
**場 所** 北方キャンパス本館 E701 会議室  
**出席者** 矢田学長、近藤副学長、松藤副学長、中野副学長、石神事務局長、伊藤外国語学部長、白石経済学部長、松尾文学部長、山本法学部長、伊野地域創生学群長、梶原国際環境工学部長、漆原基盤教育センター長、横山社会システム研究科長、齋藤マネジメント研究科長、古賀都市政策研究所長、田村(慶)学術情報総合センター長、田部井学生部長、二宮教務部長、木原国際教育交流センター長、田村(大)入試広報センター長、隈本学術情報総合センター副センター長、王評価室副室長、上江洲地域貢献室副室長

- 配布資料**
- 1 サバティカル制度の見直しについて
  - 2 平成 22 年度卒業延期特例措置について
  - 3 シラバスシステムの運用開始について
  - 4 第 5 回スポーツフェスタ 2010 結果報告
  - 5 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書

議事に先立ち、前回の教育研究審議会の審議を受けて、基盤教育センターから提出された「日本語第一言語話者である英語教育担当教員の採用についてのお願い」について、第 2 期中期計画の達成に向けて必要な対応である旨を追加修正した文書の確認がなされた。

### 第 1 号 サバティカル制度の見直しについて

\* 資料 1 のとおり、サバティカル制度について、休職または就業義務免除とするサービス取扱いを通常勤務とし、あわせて、サバティカル取得者への研修・学術図書刊行助成制度を見直すことについて提案。

- サバティカル制度は、教育・研究などで顕著な業績をあげたものを対象とし、調査研究活動に専念することを認める報奨的な側面を持つ制度である。しかしながら、現行の休職や就業義務免除としてのサービス取扱いでは、賞与や退職手当、公務災害適用等の面で不利益が生じる。このため、不利益の生じない制度への見直しを行うものである。
- また、研修・学術図書刊行助成は、数年先まで取得者が決まっているため、サバティカル制度のメニューとしては廃止したい。
- これらの見直しは 10 月 1 日からの取得者に不利益にならないよう、同日に遡及して適応することとしたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

### 第 2 号 平成 22 年度卒業延期特例措置について

\* 資料 2 のとおり、平成 22 年度卒業延期特例措置の方針について提案。

- 景気低迷の影響による依然として厳しい就職状況を鑑み、平成 22 年度についても卒業延期特例措置を実施する方針についての提案である。原則、前年度と同様の内容とするが、要綱については、今後、単年度単位で制定する。
- この方針について、各部局で検討し、その意見を集約のうえ、12 月 14 日の教育研究審議会に諮りたい。

【議長】各部局からの意見を集約し、12 月 14 日の教育研究審議会で審議することとしてよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

## 報告

- ① シラバスシステムの運用開始について、資料3のとおり報告があった。
- ② スポーツフェスタの実施結果について、資料4のとおり報告があった。
- ③ 教員の海外出張について、資料5のとおり報告があった。
- ④ 次回の審議会を11月30日（火）に開催する予定である旨、報告があった。